

令和4年度第3回国立市立学校給食センター運営審議会

令和4年11月18日

会場： 国立市立学校第一給食センター大会議室

日時： 令和4年11月18日（木）午後2時から午後2時50分まで

出席委員：山上委員、高寺委員、石田委員、田中委員、熊井委員、金城委員、村上委員、森川委員、田村委員、古屋委員、平井委員、久保委員、松浦委員、内藤委員、小澤委員（15名）

事務局：土方給食センター所長、宮本主査、久保主査

【山上会長】 定刻となりましたので、これより、令和4年度第3回国立市立学校給食センター運営審議会を開始いたします。

本日はお忙しい中、御出席をいただきまして、ありがとうございます。本日の欠席の連絡ですけれども、学校医代表の七条委員、給食主任代表の天野委員から欠席の連絡をいただいております。

それでは、まず資料の確認をいたしたいと思いますので、事務局よりお願いいたします。

【事務局】 それでは、議事に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。事前に郵送いたしました運営審議会次第、資料1-1の令和4年度事業報告、資料1-2、1-3で学校給食食材等の放射性物質の測定検査及び産地について、また、本日、机上配付として、資料2として視察に関することで2枚つづりのエディブル・スクール・ヤード実践校である多摩市立愛和小学校関連のもの、最後に席次表となっております。過不足等ございますでしょうか。

ありがとうございます。以上です。

【山上会長】 それでは、議題のほう、早速入りたいと思います。

議題の1番、事業報告について。それでは、(1)の事業報告についてを議題とします。事務局からの報告をお願いします。

【事務局】 かしこまりました。それでは、事業報告につきまして御説明いたします。資料番号1-1を御覧ください。

まず、9月22日の令和4年度第2回運営審議会から本日までの事業などの主なものについて御説明させていただきます。

9月26日の第三小学校2年3組の給食で、すいとん汁にビニール片が混入してしまいました。給食センターで異物を確認したところ、すいとん汁を調理する際に使用した冷凍加工されたすいとんだんごの包装袋であることが判明いたしました。センター内で調理する際に、開封した切れ端が料理に混ざってしまったものと思われます。

袋を開封して使用する食材等がある場合については、開封時、注意などの声かけの実施、全てを切り離さず一部残すように指導しており、また、万が一、切り端が出た場合には、もう一片と突き合わせる等の作業を指示していたところではございますが、このような事態となってしまいました。

この事態を受け、事故発覚直後に、調理担当全員に再発の防止について指導いたしました。今後は、さらなる衛生管理や衛生意識の向上を図るなど、指導を徹底し、このような異物混入が起らないよう、細心の注意を払って作業いたします。

2年3組の児童及び保護者の皆様には大変御心配をおかけしたことをお詫びするとともに、重ねてこのようなことがないよう注意し、安全で安心な給食の提供に努めてまいりますので、どうかよろしく願いいたします。

10月5日には、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会給食運営管理研究部会が昭島市で開催され、国立市から事務主査と栄養士主査が出席いたしました。

7日、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会が武蔵野市で開催され、国立市から栄養士3名が出席いたしました。

12日から翌11月1日にかけて、市内に28園ある認可保育所・幼稚園・認定こども園の年長組保護者に向けて、「もうすぐ始まる小学校給食、就学時健診日を利用して試食してみませんか」と銘打って、広く市民の皆様方に学校給食への理解を深めていただけるよう、保育園や幼稚園などに通園していて市立小学校への入学を考えているお子様やその保護者の方々を対象に、試食会を計7回実施いたしました。延べ70名分の喫食者数とありますが、お二人で1食分と言う方もおられましたので、実際はもう少し多い方が参加されました。参加された方々からは、「給食というと私が子供のときのことを思い出しますが、何倍もおいしく感じました」、「来年から楽しみになりました」、「この機会に、実際にいろいろ見学できて、子供と一緒に試食ができてよかったです」、「給食への取組も直接聞けて安心できました」、「作る様子やトラックなど見学させていただき、興味深かったです」、「給食が心配だったのですが、事前に様子を見る機会をいただけてありがたかったです」、「子供はこれから毎日楽しみなようです」、「おいしいと言っていました」などの声をいただき、栄養士、調理員

をはじめ、職員全員の励みになり、今後も業務に精励して、子供たちにおいしく、安心・安全な給食を提供しようと心を新たにしたところでございます。

21日に第六小学校の3年生約70名と保護者16名が、給食センターに社会科見学に訪れていただきました。当日は窓越しより調理場内を見学し、併せて給食センターの成り立ちや献立を作成する過程、給食センター職員の1日の業務内容等の説明をし、質疑応答を行いました。

27日に、学校給食食材等の放射性物質の測定検査及び産地についてお知らせを全校配布の形で送付してございます。これは10月25日、外部機関による検査の結果、マイタケ群馬県産に微量の放射性物質が検出されました。給食食材として御提供する前の検査ですので、学校給食食材として使用することはございませんでしたが、従前に倣い、保護者様宛ての文書を送付いたしましたものでございます。具体的な、測定濃度につきましては、後ほど御説明いたします。

11月1日、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会が昭島市で開催され、国立市から栄養士2名が出席いたしました。

4日、エコール辻東京の教員、学生6名の方が、給食センター見学に訪れていただきまして、実際に給食を喫食されました。エコール辻東京さんとは、昨年度末に中学校を対象にコラボ給食であるお祝いクッキーをお出ししたところではございますが、今年度においては、小・中学校を対象にレシピを御提案していただき、私どもの栄養士や調理員とともに協議を重ね、何かコラボ給食ができないか検討してまいりたいと考えてございます。

9日の第二中学校3年3組及び5組の給食で、5品目のゴマみそ汁にプラスチック片が混入してしまいました。給食センターに異物を確認したところ、調理場内で使用しているものなのか、納品時に食材に混入したものなのか特定はできませんでした。いずれにいたしましても、調理段階で釜の中に混入していた可能性が高いと考えられます。納品された野菜類については、3回水洗いを実施し、付着物を洗い流すようにしていますが、洗浄後の目視をさらに徹底するよう指導いたしました。また、併せて調理場内に劣化したシールの貼り付けなどが無いか、場内を再度点検するよう指導したところでございます。3年3組及び5組の生徒及び保護者の皆様には大変御心配をおかけいたしましたことをおわびいたします。

11日に第七小学校の1年生、約50名が、給食センターに社会科見学に訪れていただきました。内容については、先ほど申し上げた第六小学校の3年生と同じになります。

17日には、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会場長会が武蔵野市で開催され、私、

所長が出席いたしました。

最後に本日、第3回の運営審議会という経過でございます。

以上、主なものについて御報告させていただきました。

続きまして、資料番号1-2及び1-3でございますが、外部検査機関による放射能測定の結果につきましては、資料のとおりでございます。

先ほど申し上げました資料1-3の上段の表に、マイタケ群馬県産のセシウム137の濃度が2.1ベクレルと記載されております。よって資料に記載のとおり、使用を中止し、産地を変更したところでございます。

最後に、10月、11月使用分の給食物資の予定産地と地場野菜の使用予定も、同資料に記載してございます。

報告につきましては、以上でございます。よろしくお願いいたします。

【山上会長】 ありがとうございます。報告が終わりました。御質問や御意見がございましたらお願いします。

【久保委員】 二中の久保です。よろしくお願いいたします。資料1-1に関してなんですけれども、直接ちょっとこの資料というわけではないんですが、異物混入につきまして令和4年4月18日に第二中学校3年2組の豚汁に異物が入っていて、同月、同じく28日に第二小学校2年3組の白米に異物が混入とあって、今回、ここに御報告いただいているとおり異物の混入があったということなんですけれども、何かあったのでしょうか。

【事務局】 当然、事故発生当時には、調理員には、先ほど申しましたように私のほうから口頭で注意はしているところではあるんですが、何分、やっぱり3,500食と1,500食を作っているという部分もあるかと思うんですが、それは言い訳にしかならないので、あってはならないことなので、もうこればかりは、原因が各々特定できてはいないんですが、私のほうから事あるごとに異物混入、開封物があるのは前日に分かるわけですので、開封の物が多い場合には、私のほうから開封物があるので注意してくださいということは、先週もお話ししたんですが、それは今後ともやっていきたいと思えます。ちょっと原因については、分かっていないということでございます。

以上でございます。

【山上会長】 よろしいでしょうか。もう一つですね。お願いします。

【久保委員】 お答えいただき、ありがとうございます。こちらの御回答を受けての質問なんですけれども、新しいセンターになりましたら、この開封作業というのが別のところで

行われるのかしらと思うんですが、混入に関してこのような頻度ではなく、下がるというふうに考えてよろしいでしょうか。

【事務局】 当然、調理部門に関しましては、皆様、御存じのとおりシダックス大新東ヒューマンサービスというところに委託という形になります。そちらのほうの社員教育の部分になるかとは思いますが、当然、今の回数よりも減っていくというか、頻度は少なくなっていかなければいけない、いやゼロに持っていかねばいけないと思っていますので、それについては、今まだ時間もありますので、連絡を密にしながら、こういう異物混入事件がないようにということは、私のほうが統括責任者のほうにはお伝えさせていただきます。

【山上会長】 よろしいでしょうか。

【久保委員】 ありがとうございます。

【山上会長】 異物混入の件でした。ほかにございますでしょうか。

【石田委員】 第一小学校の石田です。よろしく申し上げます。

質問というわけではないんですけども、学校給食食材等の放射性物質の測定検査、産地についてのお知らせプリントについて、前回の審議委員会で国立市の基準がすごく厳しいということをお願いしていただきたいということをご申し上げさせていただいた部分について、すごく強調して書いていただくように変えていただいたんだなということが分かったので、ちょっとそこを御礼申し上げたいと思ひまして。すいません、時間をいただきました。ありがとうございます。とても分かりやすくなったと思います。

【事務局】 ありがとうございます。確かに御意見いただいて、ごもっともだと思ったので、すぐその次からのをするようにいたしました。ありがとうございました。

【山上会長】 ほかにございますか。

【内藤委員】 多摩立川保健所の内藤です。よろしくお願ひいたします。

異物混入事件が2件あったということで、もう少し教えていただきたいんですけども、まず、9月の切れ端なんですけど、これはすいとん汁のパッケージを切ったときの片端が入ってしまったということなんでしょうか。

【事務局】 梱包袋の上の切ったやつが入ってしまったということで、そのとおりでございます。

【内藤委員】 大きさはどれぐらいだったんですか？

【事務局】 ちょっと記憶的には、高さが1センチぐらいで、長さが10センチ程度の上の端だという感じでした。

【内藤委員】 要は、パッケージを破ったときに、本来であれば片端をそのまま本体に付けたままにしておけば入らなかったんだけど、それをピッと破ってしまったので、それが異物混入に至ったということですよ。

もう一つの11月9日のゴマみそ汁は、異物の原因特定に至らなかったという話なんですけど、今の事務局のお話から調理時に混入したんじゃないかということでした。この事案も共同調理場で起きたと思うんですが、それについても教えていただきたい。

【事務局】 これは、私も物を見たんですが、例えばテプラみたいなものが劣化して、上のところが取れてしまったような感じのビニール片だったんですね。ちょっと3という数字が入っていたんですけども、その数字と合致するようなものが給食センターの調理場内に見当たらなかったものですから。なおかつ、テプラの場合には、必ずラミネート包装をしていますので、全く見当たらなかったんですね。

ただ、2クラスに入ったということなので、1クラスだったらちょっと話はまた変わるかもしれないんですが、2クラスに入ったということは、同じ釜で作っていますので、その釜の調理時に入ったということの可能性が大きいんじゃないかと思っております。

それか、納品のときに検品で気がつかなくて入ってしまったのか、はたまたどこから入ったのかというのは特定ができなかったということでございます。

【内藤委員】 なるほど。このゴマみそ汁というのは、当然、食材を全部搬入して、下処理をして、大きな釜でみそ汁をお作りになったということですよ。

異物混入事件については、我々保健所も日々いろいろな異物混入事件を扱っているんですけども、調理時に入ってしまった最初の9月の事例は比較的分かりやすい。なぜかというと片端と本体のパッケージを突合すれば、異物はこの箇所由来であることがわかります。なので、被害は、この異物が混入していない部分は大丈夫だということになります。

もう一つの11月9日、ちょっと気になるのが2か所で異物が確認されたということなんです。仮にここの調理場で入ったとしても、ある程度の異物の量が入らないとばらけないですよ。つまり、もしかしたら調理工程じゃなくて、もっと前の段階、いわゆる原材料の段階で入っている可能性もあるのではと思ったんですが、これはなかなか結論が出ない部分もある。この案件については保健所にご相談されていないですよ。ご相談いただければ調査に協力します。

先ほど久保委員から、新しい調理場になって、こういう事故はなくなりますかねというのはいすごく良い質問なんですけれども、なかなか対応が難しい部分もあると私は思っています。

す。というのは、いろんなところから異物が入る。ただ、その中で一つ一つの異物混入事例について原因は何だったのか。それを受けての再発防止策の検討を繰り返し行うことで、ヒューマンエラーはなくしていけると思います。今、事務局の方からもいろいろ検証されているというお話をいただきました。事故はどうしても起こってしまう部分はあるんですけども、なるべく起こらないように、引き続き取り組んでいただければと思います。

以上です。

【山上会長】 ありがとうございます。再度、異物混入に関してですけれども、それも含めてほかに御質問ありますでしょうか。お願いします。

【森川委員】 六小の森川と申します。ちょっと分からないので教えていただきたいんですけども、毎月、地場野菜会議というのがあるんですが、これは具体的にどのようなことが行われているんでしょうか。

【事務局】 毎月、月の月上旬にやっていることが多いんですが、翌月の献立がほぼ決まっております。そうしましたら、そこで使用する食材も決まっているんですが、その野菜の中で国立の農家さんで納めていただける物があるかどうかというのをそこで協議して決めていただいて、そこを納めていただける物があるんだったらそれを考慮して、その後の物資選定委員会という物資の入札になるんですが、そこにお示しするという、その前の前段階で国立野菜を入れていただくお約束をいただくという形の会議になっております。

【森川委員】 ありがとうございます。

【山上会長】 よろしいですか。ほかにございますか。

【久保委員】 二中の久保です。よろしく申し上げます。

あと異物混入の件につきまして、内藤委員に御質問というか、させていただきたいというか、御意見いただきたいんですけども、今のこのセンターでしばらくやっていかなければならないので、この異物の混入というヒューマンエラーをなくしていくということでお伺いしたんですが、ヒューマンに、今、頼らざるを得ない状況で、新センターでできることとか、期待できることと、今のセンターでできること、ヒューマン以外に例えば機材を導入すれば防げるとか、こういう前の段階でダブルチェックを行えば防げるとか、そういったこととかはございますでしょうか。

【内藤委員】 これは難しい問題ですね。まず、先ほど申し上げたように、異物が混入するルートは、ある意味、無限にあって、それこそ農作物だと畑の段階から来てしまう可能性があると思います。皆さんがスーパーで野菜などを買うときに、たまに何か混じっているな、

というのがあると思います。

ただ、保健所の指導では、少なくとも施設に食材が搬入されるときは検品、すなわち仕入れた物がキッチンとした品質を保っているのかを目視確認をするのは、これまでもやってこられたと思うんです。一方で給食施設ではたくさんの食材が搬入されるので、なかなかすべてを見きれないというのはあるんですけども、そこはしっかり取り組んでいただきたいと思います。

あと、異物については、大きい食品工場だと金属探知機を導入して異物を確認しています。例えば畑から来た農作物をチェックしたときに、ピーと鳴ると金属異物をはじけるようになっていきます。学校給食で実施している例はあまりないと思いますし、予算の関係もあると思うので、まずは食材を外から入れるときにしっかりチェックすることが一つのポイントだと思います。

あと、よくある飲食店内で異物を混入させてしまう例ですが、11月の事案では調理器具から異物が入ったんじゃないかという話と近いのですが、我々がその時にどういう話をするかということ、余計な物を持ち込まないでくださいという指導を行います。よくある事例として、飲食店の従業員が私物を調理場に持ち込んでしまいがちですが、それは駄目なんです。異物を含めたトラブルの原因を持ち込むことになるので、なるべく調理に関係ない物は置かないで整理整頓をしっかりとってくださいと指導します。地道な話なんですけれども、こうした取組を着実に進めないとやはり事故が起きてしまうのかなと思います。

全ての事故をゼロにするというのはなかなか難しいのですが、繰り返しリスクを下げる取組を行うことが重要かと思います。答えになっていましたか。

【久保委員】 すみません。ありがとうございます。

【山上会長】 ほかにございますでしょうか。

【石田委員】 度々すみません、第一小学校の石田です。

10月12日に未就学児保護者等向けセンター見学及び試食会を実施されたということなんですけれども、来年度以降、また多分やられると思うんですが、新センターになって、例えば、規模を拡大したりだとか、そういった計画というのはあるんでしょうか。

【事務局】 今、お話があったとおり未就学児、来年1年生という部分で、今回、お話ししたんですけども、全ての保育園・幼稚園28園に全部お出ししたんですが、その結果という形になるので、未就学児に関しては、この企画を来年度も継続していきたいなと思っております。

ただ、試食会自体に関しては、以前は学校に通学されている児童・生徒の保護者の方という限定があったんですが、今はもうそれを解除していますので、新しい給食センターになりましたら老若男女問わず、皆様に来ていただきたいような、皆様に企画していただくことを承了するような形でやっていきたいなとは思っております。

【石田委員】 ありがとうございます。働きかけというか、未就学児の方への働きかけは、各保育園にやる、例えば市報とかで全体で募集をしたりということではなく、各保育園に呼びかけみたいな感じになるということですか。

【事務局】 市報は、今回ちょっと時間の関係でとれなかったんですが、市のホームページと、あとツイッター、あとは各園長さん宛ての文書でチラシをお配りしたという形になるんですが、今後、早めに就学時健診日が決まるようだったら、例えば市報以外にも「くにたちの教育」というのも出ていますので、そういうところでもできるだけPRしていきたいなとは思っております。

【石田委員】 分かりました。ありがとうございます。

【山上会長】 ほかに。

【古屋委員】 八小の古屋です。よろしくお願いします。

異物混入のところでもう1回ちょっと戻して、すみません、ビニール片の混入のほうなんですけれども、前にあったときにも伺ったと思うんですが、切ってそれを切り離さないで取っておくと聞いたんですが、例えば、今回で言うと、その10センチぐらいのがそのまま入ってしまったということは、切った後、どこかに袋置場があって、そこに置いて、それをチェックするみたいな、さっき言っていたダブルチェックとかというのはされたりしてないんですかね。それとも、2人以上で見て、ついているねとか言ってしているとか、どういうふうな運用になっているのかなというのが気になりました。

【事務局】 基本的にはおっしゃったとおりに、まずは切り離さないというのが大前提なんですけど、切り離した場合には2人以上でチェックするというように指導はしているんですが、今回ののが、結構調理員にも聞いたんですけども、切る作業が手間を取ったらしくて、言い訳にはならないんですが、そのときにおろそかになったというか、合わせることを失念はしたのかなと思います。

基本的には、ただ、離した場合には必ずチェックするように、確認するように指導はしているんで、今回は漏れたのかもしれないですけども、基本的にはやっているという認識でいいかと思います。

【古屋委員】 やっぱり人のミスは結構あると思うので、切り離していないと書いても切り離されてしまったとかは割とあると思うので、袋置場を置くとか。でも、調理した後、気づくと遅いので、2人以上で袋開封をやるとか、何かダブルチェックを考えてはどうかなど。仕事だと割とトリプルチェックはあるので、それで防げることもあるかなと思います。いつもどうもありがとうございます。

【事務局】 参考にさせていただきます。ありがとうございます。

【山上会長】 ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、特にないようなので、次に移ります。

議題の（２）のほうで、視察研修についてということです。それでは、（２）の視察研修についてを議題とします。

事務局から説明をお願いします。

【事務局】 かしこまりました。

それでは、視察先として、今回、事務局のほうから御提案させていただきます地場野菜生産農家の方との懇談及びエディブル・スクール・ヤードの実践校である多摩市立愛和小学校につきまして御説明いたします。

本日、お配りしました資料の２を御覧ください。

今回は、複数の委員より視察先について御提案いただきました。いただいた御提案の中で事務局で検討した結果、まず１つ目として、近年、中止になった分も含めまして、共同調理場、いわゆるセンター方式で給食提供をしている施設の視察を企画していたことが多かったものですから、今回は視点をちょっとがらっと変え、新たに子供たちの地域とのつながりや食と農に関連した事柄もよいのではないかと結論に達しました。

２つ目として、来年度、第２学期より稼働予定の新しい学校給食センターを鑑みて、開設後も継続的においしく、安心・安全な給食提供はもとより、新たに市の食育の拠点の一つとして生まれ変わろうと考えてございます。

現在は、組織体制や人員体制などの関係で、本来の給食提供に忙殺され、なかなか食育、特に学校に向けての食育事業が思うようにできていない状況でございます。

新しい学校給食センターになった暁には、栄養士をはじめ、職員一丸となって、市の組織全体を縦割りではなく、横断的に連携することについてイニシアチブを取り、食育推進に力を入れていきたいと考えております。今回の視察を通じて、今後、皆様から食育関連に対して貴重な御意見や御助言をいただければ幸いです。このようなことからの御提案

となります。

皆様には、当日お集まりいただきましたら、まずは、地場野菜生産農家の方の畑で給食への食材提供に対しての生産者の方から御苦労や思いをお話しいただきながら見学し、その後、多摩市立愛和小学校に向かい、今後の国立市における新しい学校給食センターや農を通じた学校教育の運営につきまして、思うところがございましたら御意見や御要望をお寄せいただければと存じます。

また、併せて視察先から帰ってきましたら、国立市の給食を試食していただきたいと考えております。国立市の学校給食について、忌憚のない御意見をいただければと存じます。

説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

【山上会長】 ありがとうございます。それでは、今の御説明に関して御質問や御意見がございましたら、よろしくお願ひします。

【久保委員】 二中の久保です。よろしくお願ひします。

新しいセンターになったらということを見据えての見学というか視察ということで、すごくいいなと思いますし、あとは市の食育ビジョンということもやっぱり念頭にあると思うので、いい企画かしら思うんですけども、新センターになるときの関係者というのも、ちゃんといらしていただくというか、例えば広報担当がいるんだったらちゃんと広報担当も一緒に、この視察に来るということは可能ですか。

【事務局】 今のところそこまで考えが及んでいなかったんですが、基本的に運営審議会の一つの行事としてという形になりますので、久保委員も御存じのとおり、委員だけではなくて、事務局、ここにいる私以外の主査、係長職の者も一緒に同行させていただいたりしますので、来年の8月の段階で、ここにいる職員が何人残っているか分からないところはあるんですけども、基本的にはうちのほうで自前で広報とかも全部やっていますので、なかなか市の広報担当というのは難しいかなと思っているんですが、ただ、このエディブル・スクール・ヤードに関しては、私が直接その学校にお願いしたというよりは、市の教育委員会の教育指導支援課課長と、あと統括指導主事のほうにお願いして、仲立してもらってやっていることなので、当然そちらのほうもこういうことを企画しているということは分かっていますので、今後、例えばその方たちが御興味いただければ来る可能性はあるかなとは思っております。

【久保委員】 ありがとうございます。続けてなんですけれども、我々が視察に行くに当たって、この場で、多分、感想だとか、それぞれが受け止めたことだとか、感じたこととい

うのを共有する場というか時間というのはいただけなのかということと、あとはこれまでも先ほど石田委員からもありましたけれども、PR力というか、もっと発信していく力というのがちょっと今後もすごい大事になってくると思うので、その辺の共有の仕方とかというのもちょうと何かプランがあれば御提案というか、御提示いただきたいというのと。

あと、新型コロナウイルスというのが、第8波が、年明けて1月中頃に第8波のピークが来るんじゃないかというお話がありまして、ここ二、三年、このコロナウイルスのおかげで視察がなくなっているというのが現状でして、今年こそというか、今回こそ、今年度こそ、もし視察ができなくなったらという代替案というかが、今の段階であればお願いしたいし、今ないのであればつくってほしいです。

【事務局】 確かに今のところ、昨年、その前と共同調理場を見に行く予定だったと思います。今度、小学校のほうでも今のところ校長先生ともお話ししているんですが、第8波の関係のお話は出ていないところでありまして、多分視察の方法も屋外にある校庭の菜園のところ、学校の関係者というよりは、このエディブル・スクール・ヤード・ジャパンというところの方が来られるというお話なので、直接学校の生徒さんとか児童さんとお話しするという場ではないという認識ですので、その部分では若干、昨年やその前の年よりは行ける可能性というのは大きいのかなとは思っております。

ただ、御心配になるように、リスクは多少なりともあるのかなと思っておりますので、その代替案というのはなかなか今のところは考えていないんですが、それはちょっと検討していきたいなと思っております。

【山上会長】 検討していくということによろしいですか。

ほかにございますでしょうか。

視察に関してはよろしいですか。

ありがとうございます。特になければ、次に進みたいと思います。

それでは、年が明けた1月26日の木曜日の午前中を目途に、地場野菜生産農家の方との懇談及び多摩市立愛和小学校を視察することで決定いたします。

次の議題に移ります。議題5、その他です。

最後に、(5) その他ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

【石田委員】 度々すみません、第一小学校の石田です。

第一小学校のPTAの給食委員で、来年度、ぜひ、学校の保護者を集めて給食センターの試食会に行きたいということで企画をしているんですけれども、収容というか、会議室が8

0人、100人の規模であるというお話だったと思うんですよね、新センターは。

メンバーが、例えば保護者に試食会があるので、企画しますので来てくださいという形で呼びかけたとして、100人応募があったら100人一気に行っても大丈夫なんですかねということと言われて。じゃ、ちょっと確認してきますよということでしたんですけど。

【事務局】 基本的に80人の規模になってございまして、それ以上キャパシティがないというところなので、できれば2回に分けていただくとかいうような感じで、2日に分けていただくとか、時間を分けていただくとかというように感じで対応していただければなと思っております。

【石田委員】 80人になったのか。1日に80人はちょっとあれだなというところですか。40人40人とか。じゃなくて、80人だったら1日で大丈夫？ すみません、ありがとうございます。ちょっと別の資料で100人という記述があったので。80人になったと。

【事務局】 児童・生徒が何か学ぶときには100人で入れるんですけども、試食という感じになると80人の規模になってしまうということです。

【石田委員】 分かりました。ありがとうございます。80人だったら、いついつまでに申し込めば、80人一気に行けるよという感じですか。何日前とか分かっていますかね、今の時点で。

【事務局】 新しい給食センターで何分決まっていなくてあるんですが、今、現状ですと、行う前週の火曜日までという形になっていますので。

【石田委員】 分かりました。ちょっと企画を進めたいと思います。ありがとうございます。

【山上会長】 ありがとうございます。

司会のほうからですけども、すみません、先ほど未就学児の試食というか、そういったところで言えばよかったんですが、前回の会議で小学校1年生の給食の開始時期が遅過ぎるというような、何とかありませんかという。校長会のほうでそれを確認してきますということで、校長会にその話をしました。

一応、私が分かったところでは、各小学校のほうでその開始時期がまちまちだということ。2週間後ぐらいから始められる学校があれば、ゴールデンウィーク近く、または、それを超えてから始められるような小学校もあるということで、その辺は、各学校と少し行事というか、すり合わせて決めていきたいというような話はいただきました。いただきましたけれど

も、校長先生、その場ではちゃんと答えるんですが、忘れる傾向もいっぱいありますので、そこら辺のところは各学校の、例えば運営委員会とか、そういった場で、もし質問する場があれば、1回、各学校に帰って質問されると本気でというか、次年度の予定のところまで変えてくれるんじゃないかなとは思っています。

そこら辺のところ、何をもって早いとか遅いとか、中学校の私、ちょっと分からないので、その辺の準備段階でどのくらいかかるのかというのが、私もちょっと見えないので、そこら辺は相談されるといいのかなというふうには思いました。

ほかに御質問ありますか。

【久保委員】 二中の久保です。よろしくお願いいたします。

前からちょっとお話しさせていただいているかもしれないんですけども、記録に残すという意味で、ちょっとこの場でお話しさせてください。

今のこのセンターというのは、新センターができれば稼働しなくなってなくなってしまっただけ何か別のものになるかと思うんですけども、ああいった資料、前に貼ってある国立市立学校給食センターの写真ですとか、あとこの奥にすごいいっぱい紙媒体での資料が残っていると思うので、それを、今、国立市のほうでも取り組んでくださっているということなんですけど、電子化するなり、データ化するなり、写真を今から撮っておく、動画を今から撮っておくなどして、前はこんな感じでした、新しいセンターになったらこうですよという資料になると思うので、そこは今のうちに、ちょっと写真を撮りためておいていただくとかということをお願いします。

【事務局】 大変貴重な御意見だと思いますので、やらせていただきます。ありがとうございます。

【久保委員】 ありがとうございます。

【山上会長】 ほかにございますか。よろしいでしょうか。

それでは、議題のほうを終わらせていただきます。

3番、閉会ということで、よろしくお願いいたします。

【事務局】 それでは、事務局より先ほどの視察の件について御報告がございます。

先ほど御説明いただきましたとおり、国立市に戻りましたら給食をしていただくことを予定してございまして、1月26日はちょうど全国的に学校給食週間の期間中となっております。

かなり先の話になりますが、当日、皆様には、小学校か中学校、どちらの給食を試食して

いただくか、今、思案中でございます、12月中旬に第4回の開催通知を発出いたします。その頃には、確定ではございませんが、より具体的な献立が決まっておりますので、それをお示しし、皆様に、どちらが御希望かを伺えればありがたいと考えております。

ちなみに現時点での献立としては、小・中学校どちらもカレーを主食とし、牛乳、主菜、サラダかデザートを予定しております。また、小学校高学年用の単価といたしまして266円、中学校は298円となっております。

当日、御試食いただける方は、おつりがないように御用意いただきまして、当日の朝、給食センターに集合していただきまして徴収という形を取らせていただきますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

【山上会長】 事務局のほうからのただいまの御報告はよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、本日の議題は全て終了いたしました。

重ねての御案内となりますが、今回は、令和5年1月26日の木曜日に、地場野菜生産農家の方との懇談及び多摩市立愛和小学校への視察ということになりますので、よろしく願いいたします。

では、これで第3回学校給食センター運営審議会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。

— 了 —